

第 57 回質量分析総合討論会優秀ポスター賞受賞者について

第 57 回質量分析総合討論会では、ポスター発表の質の向上を目的として、「優秀ポスター賞」の選考を行いました。研究内容およびプレゼンテーションに関する審査基準に基づいた新旧学会委員の投票を集計し、受賞者を決定いたしましたので報告いたします。

- 1P-001 鈴木宏治（産総研）
質量分析用超伝導ストリップライン分子検出器の素子構造と動作条件の最適化
- 1P-009 高橋 豊（日本電子）
LC/MS 用脱塩インターフェースの開発
- 1P-050 伊達沙智子（広島大）
一細胞ダイレクト MS 法による一細胞タモキシフェン代謝追跡
- 2P-012 藤原亮正（神戸大）
温度制御したプロトン化ペプチドの電子構造と溶媒和構造
- 2P-014 西口 克（島津製作所）
新規イオンモビリティ／衝突断面積分析法
- 2P-028 大久保雅隆（産総研）
中性フラグメントの直接質量分析
- 3P-009 本山 晃（資生堂）
同位体選択 MS/MS 法を活用したフラグメンテーション解析とその有用性
- 3P-025 寺本華奈江（日本電子）
MALDI Spiral-TOFMS による放線菌ミコール酸の構造解析
- 3P-045 新保和高（味の素）
LC-MS 用多機能アミノ酸誘導体化試薬の開発と応用

授賞式は大会最終日に行い、表彰状と副賞（大阪府警グッズ）が贈呈されました。

受賞者各位の研究の更なるご発展をお祈りいたします。

またお忙しい中、審査いただいた新旧委員各位に厚く御礼申し上げます。

なお審査基準は下記のとおりでした。

研究の質に関する基準項目（配点 50%）

1. 新規性、独創性、あるいは研究の有用性
2. 実験の組み立ての妥当性
3. 結果の解釈と考察が論理的で示唆に富んでいるか
4. 科学的な錯誤がないか
5. 実験系を用いない発表については、総合的な発表の価値

プレゼンテーションに関する基準項目（配点 50%）

1. ポスターを見渡して、説明を聞かなくても要点をすぐに理解することができるかどうか
2. 文字や図表の大きさが適度か、ある程度離れても解読できるか
3. 英文抄録や図表の英語説明が理解できるか
4. 情報が過多ではないか
5. 用語が正しく使用されているか
6. 発表者の説明が簡潔かつわかりやすく、説明時間が適度かどうか
7. 質問に対する回答が簡潔かつ的確であるかどうか
8. 説明している相手以外の聴衆全体に対する配慮（他の聴衆が理解できる声の大きさや説明の方法）があるかどうか
9. その他、体裁が規定を逸脱していないか

以上

第 57 回質量分析総合討論会実行委員会